

人類は魔軍に

敗北しました。

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

人類は魔軍に

敗北しました。

※本書はC94で頒布したコピー誌を再録
ページ追加及び加筆修正したものです。

LP7年魔軍は突如人類圏へ
侵攻を開始した。
それに対し人類は
ランスを総統に、団結して抵抗。
しかし、無敵の魔人と
モンスターの大軍の前に
各地の人類軍は
徐々に劣勢となっていた……

リーザス領内——

はああッ

クアール！
レーン!!!

やった!!
さすが副将ッ

リーザス赤軍
副将メナド率いる部隊

おかし

敵の動きが
想定と違う!!
誘い込まれてる……?

みんな撤退だ!!
包囲されるぞ
早く!!!

はッ

そっはさせん

あッッ

勳の良い
ネスミめら

逃げられると
思ったか？

貴様らはここで
塗り潰される
のだ!!!

魔物将軍!!

伏撃ッ？ いったい
敵はどれだけの
戦力を投入して…？

構うな突破だ!!
退路をこじ開ける
赤軍の力を見せる時だ

でも
やるしかない
退路を塞がれたら
全滅する

魔物将軍は
ボクが相手する!!

さっきまでの
威勢はどうした
オラあ!?

剣がなきや
ただの肉穴だと
思い知れ女ア!!

おらもつと
締め付けやがれ!!

魔物精液
受け止めるッ

オイいつまで
遊んでる
つもりだ?

逃げ散った
人間どもを追って
ぶち殺さにな
らん

そう急ぐなよ
將軍がおつ死んだんだ…
次の命令まで
お楽しみと行こうぜ

出るぞ
オオッ

オウ
俺にも
犯らせる!!

將軍の
甲い合戦
しないと

俺も

順番だ
順番ッ!!



やま

廃屋に監禁されたボクは
来る日も来る日も
モンスターに
犯され続けた……

ふーようやく
窮屈なスーツから
解放されたぜえ

あッ
あッ
あッ

本気の魔物の
交尾たっぷり
味わえよお!!

ズ
ズ
ズ

でも負けるもんかっ……
こうしている間も
みんな必死に魔軍と
戦ってるハズ

どうだあ 人間の粗チン
なんかと比べものに
ならんだろお?

その反抗的な目も
いつまで続くか
ねえ?

ボクは……っ
諦めない……

ランスが魔人を
倒してさえ
くれば一気に
戦況が変わる……

いくら
強がっても……

尻穴まで
トロトロだぜ

あッ
あッ
あッ

ボクに出来るのは
それまで少しでも長く
この責め苦に耐えて

モンスターどもを
引き付けておく
ことだけだっ……

お前はもう
ケツ穴ほじられて
よがる雌豚なんだよ

わかったら
雌豚らしく
イキなっ!!

随分甘い声出すように
なってきたじゃねえか

オイルリ。



あっぱあつ♡
入れて下さい
早くう♡♡

好きなのお
濃い♡♡
欲しい♡♡



ホレもっと
しゃぶれ

ようやく
従順になって
きたじゃネーか



ちゅぶツ
れるお

そうだせいせい
ボクを犯すのに
夢中になってればいい



ハハツ
ハハツ
ハハツ
ハハツ

ボクの身体で
オマエ達の汚い魔物精液
たっぷり搾り取って…

ハハツ自分で
腰振ってやがる

つし好き♡♡
気持ちイイよオ

いいぞ
メス豚め

そら精液の
ご褒美だツ



はい…いつ
ボクは…淫乱な
穴奴隷であらツ

ご主人様の♡
なごましい
魔物子♡ボツ

ボクの雌穴
奥までびち込んで…♡
ズボズボ犯して下さい♡

あはアン…
熱くて獣くっさい
ぶりぶりザーメン
いっぱい出た♡



戦う力も出ないほど
骨抜きにして
やるんだから…♡

好きなだけ
使ってもっと
吐き出して…♡

いいよボクの
イヤラシイ穴…



だからお願い
ランスっ……!!
ボクが耐えられてる
間に……ひっ♡

早く……はやくっ
リーザスのみんなを
リア様を……
救ってええ……!!

たまんねえなこの売女
金身でチンポ睡えて
悦んでやがる!!!

じゃないとおオ……ッ
ボク……もう戻れなくうん
ホントに魔物チンポの
虜に……なるう……♡

ゲヒヒッ
いいケツ穴
具合だぞおっ!!



だっ駄目へえ♡
ホクもう…
蕩け…るぶら♡

精液っドビュドビュ♡
排泄され…てえ悦んじやう
魔物チンポのツ肉便器に
なっちや…ぶら♡♡♡



フウ…しかし
この便器も
飽きたよなー

犯しまくった
からなア…
無理もねえ

オウ ちようど
いい知らせだ



たった今
リーザス城を
陥落したってよ

おあ

イヤァァァ

ああ

やあ

リア様

ハッハハー
新しい肉便器
よりどりみどりで
ってわけだ!!!

ス
ス
ス
ス

ス
ス
ス
ス



オイ喜べ
肉便器チャン

お仲間が
増えるってよ?

はひひ
うれしい
うれしい

あーあコイツ
もうわかってねえよ
ぎやははは

はっ

はっ

ランス率いる魔人討伐隊は何体かの魔人を倒していたが、人類軍の劣勢は明らかだった。陥落した地域が出たことで士気は下がり全軍の崩壊が加速度的に早まっていた。魔軍による蹂躪、虐殺、陵辱——いくつもの悲劇が確実に進行しつつあった。

人類は魔軍に

敗北しました。

なんだか忙しいです。

魔物軍が占領したりーザスのとある都市。
人類軍の頑強な抵抗に対して魔物将軍が取った手
段は見せしめだった。広場で女騎士が晒し者にさ
れる。ハウレーン・プロヴァンス。都市の防衛を指
揮していた白軍の副将だ。
「くっ、ひと思いに殺せ……っ」
初めは気丈な様子だった彼女も様々なモンスター
に代わる代わる犯され、次第に力なく嗚咽を上げ
るだけになってゆく。
その光景は残った抵抗の意志を挫けさせるに充分
なものだった……

モウ
ヤメ

ム
ム

ム
ム



人類軍の司令部CITYのランス城。
しかしそこも魔人の襲撃によってあえなく陥落。
サーナキア率いるランス騎士団は、揃って敗北の
責めを受けることになる。

見目良い娘だけで構成された騎士団は
魔物達にとって格好の餌食。
鎧を剥がされ、娘達は次々に犯され泣き叫ぶ。
「くそっ、ボクは諦めないぞ……!!」
そんなサーナキアの意地も、魔物の野太い肉棒で
貫かれると、すぐに哀願の悲鳴に変わるのだった。



今まで幾多の大物を仕留めてきた凄腕のモンスターハンターにも敗北の時は来る。

アームズ・アークは巨根で尻穴を押し広げられ、悲鳴にもならない吐息を漏らした。既に幾度もデカントの逸物を受け入れた膣はだらりなく開ききり大量の白濁を溢れさせている。しかし疲れを知らない巨漢のモンスターはアームズの身体を飽きるまで揺さぶり続けた。

抵抗する力を失った女たちはモンスターにとって格好の玩具。人類軍が敗走を続ける世界のどこか、同様の光景が繰り広げられていた。

かなみはいつの間にか悪魔に囚われていた。
「ワシもコケにされたままにはいかんねん」
魔軍の手に落ちる寸前、リターンデーモンは次元を歪
めてかなみを拐かしたのだ。

「いつ、いやあああつ!!!」
自在に伸びた悪魔の両腕がかなみの身体を拘束し、
触手状の生殖器が幾本も絡み付く。触手は粘液を滴ら
せかなみの胎の中に侵入しようと殺到した。
悪魔のもたらす快楽は人間とは比べものにならない。
かなみは為す術無く身体を震わせ喘いだ。

アッ
アッ
アッ

はま

はま

はま
はま
はま

はま
はま
はま

「あひつ♡助けて…っランスら」
幾度となく絶頂させられ、朦朧とした頭で
助けを求めるかなみ。
しかしその希望も悪魔の言葉に潰える。
「人類軍な、敗北したで。総統も殺されよったわ」
「そ、そんなあ…ふああつ♡ああはあつ♡」
絶望したかなみは、肉体も魂も未来永劫囚われ、
悪魔の玩具となるのだった。

ぬる

うご

はま

はま

はま



魔人メデイウサに侵攻された魔法国ゼス。援軍として送られたJAPAN毛利軍にとって不幸だったのは、メデイウサが女の子をいたぶり殺すのを趣味にしていることだった。

「あがつあひぎくつうごおおおおお!!!」
直腸をこじ開けられ、吉川きくはこの世のものとも思えない悲鳴を上げた。メデイウサの股間から生えた蛇が体内を突き昇るたび、きくは全身をがくがくと痙攣させ、口からは押し出されたように悲鳴が漏れる。
やがて口からずるりと蛇が顔を出す頃には、きくは既に絶命していた。

無敵の魔人といえども、敗北の末路は人間と変わりない。
パイアールに捕らえられたサテラは、得体の知れない機械に全身を
拘束され、身体に様々な管や電極がとりつけられていた。
「何をやるつもりだ!! サテラはご、拷問なんかには屈しないぞ!!」
「記録を見たけど……君、やたら感覚が敏感らしいね?」
「試してみようじゃないか」
パイアールがスイッチを入れると、装置が一齐に動き出した。

「びひゃあアあああつ♡ あハああ——つ♡ なんだこれッあがつ♡
お尻イひつ、入ってきちゃウらう——♡」
敏感な部分にありえないほどの刺激を加えられ、
狂ったように全身をガクガクと痙攣させるサテラ。
「魔人は死なない。じっくり実験に付き合って貰うよ」
「んひひひ♡ これっ止めてエツひ♡ あびゃアああつ……♡」
パイアールの声は既にサテラの耳には届いていなかった。

魔軍との全面戦争にあたり、人類軍は広く兵を募り戦ってきた。そのため正規軍人や歴戦の冒険者だけでなく、新兵や低レベルの戦士も含んでいた。そして彼らも魔軍に無差別に蹂躪された。

プリマ、セスナ、メガデスらアイスフレイム三人娘人類のため微力ながら立ち上がった彼女たちも捕えられ遊び半分に陵辱されるのだった。



人類軍の主力が敗れ去ると、人々は動揺し
末端の秩序は崩壊した。
仲間割れや裏切りが横行し疑心暗鬼から
リンチを受ける者も絶えなかった。
特に普段の素行が悪い者は
真っ先に吊し上げられた。

ヘルマンのある都市で、イオ・イシユタルは
肉便器として奉仕させられていた。
幾人もの男達に精液を注がれ、嘲笑を浴び、
その瞳は既に虚ろになっている。
それが裏切り者の当然の末路。もはや冤罪かどう
かなど、気にする者は誰もいなかった……。





魔物大將軍ピサロの怒濤の攻撃により
織田城はあえなく陥落した。
「黄金をどこに隠した?」吐け!!
「香姫と五十六は揃って虜囚の身となり、」
拷問戦士の執拗な尋問を受ける。
「知りませんっ……痛ッ!! ああ——ッ!!」
暗い牢の中、三角木馬が秘裂に食い込み
鞭打たれた白い肌は無惨に赤く腫れ上がる。
気丈なふたりとて耐えきれず悲鳴が上がる。
「裂け……るっ!! あアッ!! ヒィ——ッ!!」
しかし拷問の手は緩むこと無く続き、
ふたりが陽光を拜むことは三度と無かった。

頼みの綱であった魔人討伐隊も敗れ去り
人類は魔軍への対抗手段を喪失する。
各地は絶望と混乱の渦に巻き込まれ、
もはや戦争の帰趨は明らか。
そして——新たな魔王の誕生によって
人類の運命は決定づけられた。

そろそろですか？

まだまだ

敗北しました。

人類は魔軍に

ケイブリスが魔王の強制力で命じたのは、ホーネット
にとつて最も屈辱的なことだった。
「魔王さま……どうか、私のいやらしい処女穴に
貴方様の逞しいオチンチンを突っ込んで下さい♥」
卑猥な言葉を口にし浅ましく尻をくねらせる。気高き
魔人筆頭の姿はそこにはない。

触手状の生殖器がホーネットの美しい肢体にま
わりついた。尻を撫で胸を弄り、唇を蹂躪してから、
触手は胎内にゆっくりと侵入し始める。
「ひぐ……あっ♥ 入って来ますッ奥まで……ッ♥」
痛みと悔じさに身体を震わせながら、ホーネットの
口は心とは裏腹の媚びた言葉を紡ぎ続けた。
「もつと犯して下さい……お尻にも欲しいんです♥」





「あつふあああッ♡ ごめんなさいハウゼル様っ♡」
「はぐっ—あハあ—っ!! ダメえッ……火炎ッ」
「ああつ、こんな気持ち悪い……っでも気持ちいいッ♡」
「男根を生やされ性欲を暴走させられた火炎書士に
使徒が魔人を支配している——そんな猿芝居の末路。
犯されても、ハウゼルは抵抗できない。してはならない。
もはやそうして魔王の機嫌を窺う以外にふたりの
生きる道は無いのだから。」

ケッセルリンクは諦観に包まれていた。使徒達のおかげで復活した命だったが、魔人である以上魔王には抗えなかった。ケイブリスに下された『モンスターに犯されやがれ』という命令を唯々諾々と受け入れ、下賤のモンスターにその身を任せるしかなかった。徹底的に辱められた後は恐らく殺されるのだろう。ケイブリスが魔人さえも全て殺す暴君になるとはケッセルリンクも予想出来なかったのだ。

野太い肉棒で貫かれながらもケッセルリンクは淡々とペニスをしやぶり、指でしごく。義務的な動きだったが、魔人を犯せるというだけでモンスターたちは次々と群がった。元カラーの美しい肢体はすぐにモンスターの吐き出した白濁で染まっていた。

特殊な力を持ち、人間界で暗躍した者であっても、押し寄せるモンスターの大軍の前に抵抗の術は無かった。それどころか、ひとたび捕えられてしまえば、死なない身体はモンスター達にとって都合の良いおもちゃだった。

四肢を切り落とされたアムは、ただ性欲を満たすためだけの肉袋にされた。もはや人間ですらない、道具扱い。アムにできるのは、突き入れられたペニスを締め付け、獣のような喘ぎ声を上げ続けることだけだった。

魔物といっても残虐な者ばかりではない。
戯れに人間を殺すばかりではなく、奴隷やペ
ットとして扱う変り者も稀にだが存在する。
そんな魔物に飼われて、柚原柚美は命を長ら
えていた。



耳を付けられ、身体には装飾のピアスが光り、尻
穴には尻尾付きのパイプが突っ込まれている。
その姿で首輪を嵌められ、荒廃した街中を引き
回されるのが、現在の柚美の日課だった。
「くふふ、次はわんわんと交尾させてみるか。
オマエ好きだろう、わんわん？」
ペットに拒否権はない。魔物の大きな手で撫で
られ、柚美はきこちなく頷くしかなかった。

魔軍の虐殺で人類のほとんどは死に絶えた。
ごくわずかに生き残った人々も魔族の支配の元
で生き続けるしかない。そんな彼らを待つて
いたのは家畜としての過酷な日々だった……

薄暗い小屋に吊下げられる裸の女達。その中
に捕えられた上杉謙信の姿もあった。

幾人もの男達が代わる代わる謙信を犯し精
液を注ぎ込む。愛情はなく、家畜として子を
孕むためのだけの交尾。人間が絶滅しないよう
一定数だけ繁殖させられるのだ。

繁殖小屋の中に女達の悲鳴が響く。交尾は毎
日終わり無く続く。女達が子を孕むまで――
あるいは死ぬまで。



アルカネーゼは首輪を嵌められ薄暗い小屋に繋が
れていた。小屋には女だけが集められている。皆男
達に犯され孕まされており、アルカネーゼも、もは
や抵抗するような気力は失っていた。女達の二様
に大きく膨らみ張り詰めた乳房に、搾乳機が取り
付けられる。機械が作動すると、乳首からは白い母
乳が勢いよくびゅるびゅると滴った。

鑑札で管理され、乳を搾られる。魔族にとって自分
がうしろと同じ家畜に過ぎないことをアルカネーゼ
はその境遇で思い知るのだった。



ああ

ああ
だめ

わん

まっ

うわ

まっ

まっ

まっ

ああ
ああ
ああ

ああ
ああ
ああ

次々と交尾を強制され、否応なしに子を孕まされた女達は、もはや戦士でも騎士でもなかった。リーザス親衛隊長レイラ・グレクニーほどの騎士といえども、ただ快楽に喘ぐだけの女に成り下がっていた。今や彼女の目に光は無く、腹はぶっくりと膨れ、張り詰めた乳房からは母乳が染み出し始めている。臨月の腹を男に突き上げられる刺激で、破水を迎えるレイラ。だが彼女を待っているのは安息ではなく、次の交尾、そして妊娠だけなのだ……

いほ
お♡

ああ
ああ
ああ

複数の男に囲まれ、メナドは浅ましく尻を振っていた。口にも肉棒を頬張り、男達を悦ばせる。そうして何人もの男が次々と精を吐き出し、メナドの褐色の肌を白く汚していく。

「もっとお…ボクにつ出してえッ♡」

終わらない陵辱がメナドの精神を壊したのか、生き残り、いつか魔物に反抗するという目的も、自分が何者だったかも忘れ去っていた。

ただ快楽を貪るだけの獣に成り果て、メナドも他の娘達同様、その短い生涯を終えるのだった。





あとがき

どうも、読んで頂きありがとうございます。DHAです。今回は再録10本です。前回夏コミでおまけコピー本を無料配布したのですが、書店委託で思ったより新刊の部数が増えてしまい、結果としてコピー本を手に出れた人の割合が少なくなってしまいました……。コピー本とはいえ仕上げまでしてあるデータで増刷は難しくないし、ありがたいことに欲しいという声もありましたので、大幅ページ追加で出す事にしました。

ランス10はビッグボリュームでしたが、人類存亡の戦いというわりには敗北陸辱は姫たちやメディウサ関係だけなので、鬼畜王と比べてみても少ないかなーという印象はあり。なのでこういう二次創作もたまには良いのではないかなと。リンカーンだけでは幅が無いし魔軍相手だし…なるべく色々鬼畜なプレイも取り入れてみましたが如何でしょうか。こういう形式ならストーリーとか深く考えなくても良いのはオマですな。

それとも諦めますか？

どうしますか？
やり直しますか？





発行日
2018/12/31
C95

発行
短髪企画

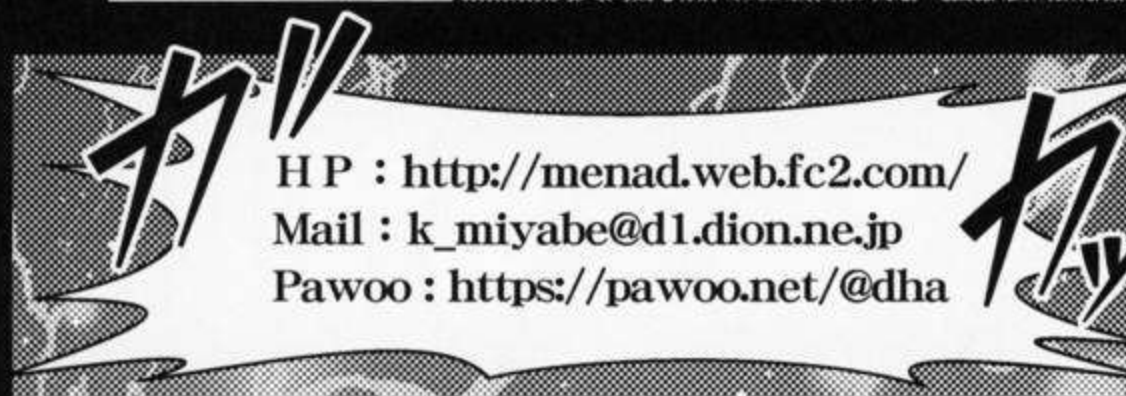


奥付



著者
DHA

誌名
『人類は魔軍に
敗北しました。』



HP : <http://menad.web.fc2.com/>
Mail : k_miyabe@d1.dion.ne.jp
Pawoo : <https://pawoo.net/@dha>



印刷
株式会社ポプルス



twitter : dha_1
pixiv : 41750



オマケ画像も
あるから



<https://questant.jp/q/04QRSW22>

